

平成 22 年 7 月 13 日  
気 象 庁

東海地震の予知手法等に関する勉強会（第 2 回）の議事要旨について

気象庁では、東海地震の予知に関する新しい知見、注目する研究等、地震の予知に関する最新の研究成果についての情報収集と意見交換を行うため、昨日、東海地震の予知手法等に関する勉強会（第 2 回）を開催しました。意見交換の要旨は次のとおりです。

1. 開催日および場所

平成 22 年 7 月 12 日（月） 気象庁（2 F）地震防災対策強化地域判定会室

2. 出席者

山岡（座長）、加藤、松本、武村、久田の各学識メンバー（役職等は別紙参照）

西出地震火山部長、横田地震予知情報課長、  
吉川気象研究所地震火山研究部長、長谷川地震情報企画官、  
舟崎評価解析官、荒谷地震予知情報課課長補佐、中村地震予知情報課調査官 他

3. 議事要旨

東海地震予知において重要な位置づけである「前兆すべり（プレスリップ）」に関する地震発生シミュレーションの研究成果が紹介され、意見交換を行った。主な事項は以下のとおり。

（主な事項）

- （1）加藤尚之東京大学地震研究所准教授から、震源（破壊開始点）の深さと固着の程度及び前兆すべりの規模に関する研究成果が紹介された。また、前兆すべりが発生する機構及びその可能性について検討を行った。
- （2）弘瀬冬樹気象研究所研究官から、「長期的ゆっくりすべり」と東海地震及びその前兆すべりの関連性に関する研究が紹介された。
- （3）第 3 回勉強会でも引き続き地震発生シミュレーションから「前兆すべり」を検討し、中間報告に取りまとめる予定である。

【本件に関する問合せ先】

気象庁地震火山部地震予知情報課  
電話 03-3212-8341（内線）4576

東海地震の予知手法等に関する勉強会 構成メンバー

- 座長 山岡 耕春 名古屋大学大学院環境学研究科教授  
(微小地震、地震予知)
- 谷岡 勇市郎 北海道大学大学院理学研究院教授  
(プレート間地震、津波)
- 海野 徳仁 東北大学大学院理学研究科教授  
(微小地震活動)
- 加藤 尚之 東京大学地震研究所准教授  
(プレート間地震発生のシミュレーション)
- 飯尾 能久 京都大学防災研究所教授  
(内陸地震の発生予測)
- 松本 聡 九州大学大学院理学研究院准教授  
(地下構造解析、地震波形解析)
- 武村 雅之 株式会社小堀鐸二研究所 副所長  
(地震工学、強震動解析)
- 久田 嘉章 工学院大学建築学科教授総合研究所・都市減災研究センター長  
(地震工学、都市防災)